

【甘楽町】シルク de カフェ

01

どんなニーズ
(背景・きっかけ)

町内で人口、世帯ともに一番多いこの地域で「介護予防を目的に、高齢者が気軽に集い、体操や生きがいづくりなどを実施できないか」というニーズがあった。

02

だれに・どのように
アプローチしたか

- ・町民（有志）、自治会や民生委員、社会福祉法人、その他町内の事業所向け説明会を実施。
- ・地域貢献事業として、介護予防事業に理解のある社会福祉法人にご協力いただく。

03

どのような資源を
活用したか

- ・場所として、特別養護老人ホーム（特養）、小規模多機能型事業所の交流スペースを提供。
- ・担い手として、事業所の施設長、スタッフ。
(主な活動…体操、介護・健康・栄養相談など)

04

生まれた活動

- ・参加者とスタッフが交流する機会
- ・特養及び事業所と地域の関係性の強化（信頼関係）
- ・老人クラブ会員が、敷地内に花を植えてくれた

05

活動の成果と
今後の展望

事業所周辺が散歩コースにもなっており、常時開放している交流スペースに近所の人々が気軽に立ち寄れるので、住民と施設との敷居がなくなった。

【甘楽町】シルク de カフェ



交流スペースでひと休み！

【甘楽町】シルク de カフェ



老人クラブ会員による花植え！

用語説明

『小規模多機能型事業所』

高齢者に対して在宅での生活が継続できるよう、「通い」を中心として、要介護状態や希望に応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、入浴、排泄、食事などの介護、その他移動介助や送迎など日常生活上の世話、機能訓練を行う事業所